

事業名 平成20年度 五泉市民大学講座

目的 市民の生活向上と教養を高めるため、各研究分野における専門家を講師として専門知識の習得できる機会を提供することを目的とする。

実施主体 五泉市教育委員会 生涯学習課

参加対象 一般市民

参加者数 151人

回数 8回 **日数** 8日 **時間** 720分（1回90分）

場所 五泉市総合会館、五泉市村松公民館

内容

回	期日	テーマ	方法	講師
1	11/18	慶応4年（1868）戊辰戦争時における世直し一揆	資料や映像を取り入れながら、講義形式で進める。	郷土史研究家 松永克男
2	11/20	働く人の経済学～新潟県の雇用実態と格差問題～		新潟大学経済学部 准教授 北條雅一
3	11/25	裁判員制度の意義と課題		新潟大学法科大学院 教授 鯉越溢弘
4	11/27	腕足類の化石からみた大昔の日本		新潟大学理学部 教授 田澤純一
5	12/1	海と山の交流～民俗文化再考～		新潟大学人文学部 教授 池田哲夫
6	12/3	郷土をしらべる人々～三輪長泰『改正越後国佐渡国全図並付録』をめぐって～		新潟大学人文学部 准教授 堀健彦
7	12/10	城下町村松の比較史		新潟大学人文学部 教授 原直史
8	12/17	新潟の歴史 近現代		新潟県立歴史博物館 研究員 田邊幹

成果 ・ 昨年受講した市民も多く見受けられ、終了後のアンケートからも「大変おもしろかった」「また参加したい」などの声が寄せられ、受講者の興味・関心に応じた内容であったことが伺えた。また、講義が終了した後に講師に直接質問をする受講者もおり、単に専門知識習得の場としてだけでなく、更に知識や教養を深めたいなど、学習意欲の向上を図る機会としても重要であると考えられる。

課題 ・ テーマによって受講者数の偏りがあり、均一的な受講者の確保ができない。また、当事業では受講者数が多く見込まれる内容に偏ってしまい、広い分野でのテーマ設定が難しい。
・ 市民ニーズの把握と新規受講者の獲得。専門的になるほど、特定の人しか参加しないということも考えられるので、より多くの市民が参加できるテーマ設定を行なうことが課題である。

問合せ先 五泉市教育委員会 生涯学習課 電話：0250-42-5195 FAX：0250-43-4190